

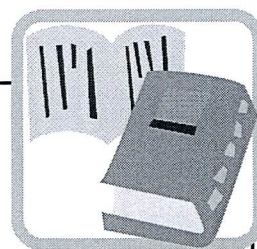
いとうし
伊東市がめざす子

じぶん まな こ
自分から学べる子

がくねん 学年	かていがくしゅう もくひょう 家庭学習の目標	じかん 時間	おもないよう 主な内容
ねんせい 1年生	しゅくだい かなら 宿題を必ずやろう	ぶんいじょう 10分以上	がっこう しゅくだい ☆学校からの宿題
ねんせい 2年生	じかん き べんきょう 時間を決めて勉強しよう	ぶんいじょう 20分以上	おん どもく 音読
ねんせい 3年生	じしゅがくしゅう とくく 自主学習に取り組もう	ぶんいじょう 30分以上	もじ れんしゅう 文字の練習
ねんせい 4年生	みなお じぶん 見直しを自分でやろう	ぶんいじょう 40分以上	ほんうつ 本写し
ねんせい 5年生	じしゅがくしゅう じかん ふ 自主学習の時間を増やそう	ぶんいじょう 50分以上	けいさんれんしゅう 計算練習
ねんせい 6年生	じしゅがくしゅう けいかくてき まいにち 自主学習を計画的に毎日やろう	ぶんいじょう 60分以上	かん じれんしゅう 漢字練習
中1	じしゅがくしゅう よしゅう 自主学習で予習をしよう	ぶんいじょう 90分以上	どく しょ 読書
中2	じぶん あ ないよう かんが 自分に合う内容を考えよう	ぶんいじょう 120分以上	につ き 日記
ちゅうさん 中3	かた くふう もくひょう やり方を工夫し、目標をもって がくしゅう 学習しよう	じぶん せつてい 自分で設定	じ しゅがくしゅう ☆自主学習
			な しゅう ふくしゅう 予習・復習
			なお テスト直し
			しら がくしゅう など 調べ学習など
			かくきょうか よしゅうふくしゅう 各教科の予習復習
			まちが もんだい と 間違えた問題を解く
			いちどりかい なお もう一度理解し直す
			にがて ぶんや な 苦手な分野を無くす
			しら すず 調べをさらに進める

かていがくしゅう お
～家庭学習が終わったら～

じかんわり あす もものたし
時間割や明日の持ち物を確かめましょう。
ふでばこ なかみ たし
筆箱の中身も確かめておきましょう。



しょうがくせい ほごしや みなさま 小学生の保護者の皆様へ

いとう こ 子どもたちが、「自分から学べる子」になるように、というねがいを込めて、このたび「伊東市家庭学習のすすめ」を作成しました。併せて、保護者の皆様へのお願いとメッセージを以下に掲載させていただきます。

・小学校の間は、お子さんの家庭学習にかかわってください。

こ お子さんが勉強をしている間、ずっとそばで見ているというのは、なかなか難しいのが現状だと思います。何かの合間に音読を聞いてあげる、宿題が終わったらノートを見てあげる、日記を書いたら読んであげる…というように、できる範囲でお子さんの家庭学習にかかわってください。

こうがくねん たとえ高学年になっても、いってみればまだ小学生です。自分を成長させていくためには保護者の励ましや見届けが必要です。保護者がかかわった分だけお子さんは伸びていきます。今日からでも遅くはありません。そして今しかできないことです。

・小学校では、10分×学年が最低限の学習時間です。

いとうし がっこう ぶん がくねん さいていげん がくしゅう じかん 伊東市の学校では、この時間を目安に、家庭学習の指導をしていきます。低学年は、まず学校の宿題をしっかりとやるのが大切です。4年生ぐらいから少しずつ自主学習を取り入れていき、6年生では、60分間の学習が自分からできるようになってほしいものです。

じかん はか け しゅうちゅう とく なお がくしゅうないよう 時間を計り、テレビを消して、集中して取り組めるとよいです。尚、おすすめする学習内容については、別紙「〇年生の家庭学習」を参考にしてください。

・毎日の積み重ねが大切です。とくに音読は必ず続けましょう。

とうぜん しょうがくせいいかつ いちど す じかん もと まいにち 当然のことですが、小学校生活は一度きりです。過ぎてしまった時間は戻ってきません。毎日こつこつと積み重ねてきたことが、大きく実を結んでいきます。とくに「読むこと」は全ての学習のもとになり、生きていくうえでも大切な力です。どんな学習も読むことから始まります。そして読む力が話したり書いたりする力につながっていきます。ただこの読む力は一朝一夕には身に付きません。ですから音読は1年生から6年生まで、できる日は毎日続けることが大切です。

どくしよ こ がくりよく きき ころも ほん よ また読書も、お子さんの学力を支え、心を育てていくものです。たくさんの本を読むことはもちろんですが、好きな本を見つけて何度も読み返したり、同じ作家の本や同じシリーズを読んだりするのもよいでしょう。お子さんの心には、きっと何かが残るはず。他にも、習った漢字を使って文を書くことも学習の大切な要素です。お子さんの様子を見ながら声をかけてあげてください。